高崎健康福祉大学 Takasaki University of Health and Welfare

Takasaki University of Health and Welfare

健大通信

KENDAI NET

Vol.46
KENDAI NET
Autumn 2026

【編集・発行】高崎健康福祉大学　〒370-0033　群馬県高崎市中大類町37-1　https://www.takasaki-u.ac.jp



TOPICS

生命学と死生学(Life and Death Studies)に関する一考察：健大で「生命の尊厳」を学ぶ意義

高崎健康福祉大学
健康福祉学部 学部長 兼 健康福祉学研究科長
下川　哲昭　Noriaki Shimokawa

1. はじめに

この原稿を書いていた7月28日夕方、熊本県で最大震度7を観測する地震が発生しました。多くの被災された方々、言葉では到底言い表せない困難な状況に置かれている方々に高崎健康福祉大学に勤める一人として衷心よりお見舞い申し上げます。と、ともに今もなお救援・復興に懸命に奔走されている方々に深い敬意と感謝を申し上げます。

2. 2つの事件

筑波の理化学研究所で研究・教育に従事し始めて約35年が経ちました。健大での12年間も含めて、これまで関わった多くの青年達は、学問や人間関係で悩み、将来に逡巡しながらも自らが決めた道を歩んでいました。ありがちなことですが、年齢を重ねるにつれて自分の若かった頃と今の学生さんを比べてしまうことがあります。「今時の学生さんは…」などと言うつもりはありませんが、根底の部分で何かしら「分かり合えないかも知れない」と漠然とした感覚に駆られることが幾度かありました。

しかし、2つの事件が不明瞭だった感覚の輪郭を浮き彫りにしてくれました。事件の一つは2024年10月、北海道江別市の公園で大学生の男性が若者の男女6人から集団暴行を受け、死亡した事件。もう一つは2024年4月、北海道旭川市で若い女性2人が17歳の女子高校生を橋から川に転落させ、殺害した事件。「生命軽視」や「残虐な犯行」といった言葉でさえ事件の本質には程遠く、底知れぬ恐ろしさに愕然としました。事件を起こした彼らや彼女らは、大人や社会から「生命とは何か」を学んでこなかったのでしょうか？自分がムカついたらその鬱憤を晴らすため相手を殺しても良いと教えられていたのでしょうか？そして、これらのことから私達が学ぶべきは一体何なのでしょうか？

3. 生命学の展開

健大では「生命学」という授業科目はありませんが、5学部9学科それぞれの学問領域であらゆる角度から「生命」を学び、探求し続けています。ある学科では「生命の誕生」を、別の学科では「生命の仕組み」、「生命の維持」、「生命の発達」、「生命の有り様」、「生命の倫理」そして「生命の破綻」などを学ぶことができます。どの学科の学生も「生命とは何か」を多面的に学べることは健大の財産であると思っています。

私事で恐縮ですが、私は健康福祉学部 健康栄養学科で解剖生理学を担当しています。解剖生理学とはヒトの体の構造(解剖学)と機能(生理学)を学ぶ学問です。「生殖」の分野では、妊娠と出産が母親と子供(胎児もしくは新生児)の両者に生死に関わる極めて強い要求を強いる特別な現象であることを講義します[1]。例えば、胎児への酸素の供給は100%母親に依存していますが、出生直後、肺は水浸しにも関わらず急に「自分で呼吸しなさい」と強制されます。しかし、現在の世界の人口が約82億人であることを考えれば、この人類の歴史が始まって以来の妊娠 - 出産というシステムがいかに私達の生命を過去から未来へ存続させる確実な方法であるかが理解できるはずです。また、この講義では6歳で亡くなったダウン症児の母親の手記[2]や1997年に起きた神戸連続児童殺傷事件で10歳の娘さんを失った母親の手記[3]の一部を紹介しています。これは、ヒトには病や理不尽な事件で最愛の子を失ってもなお、その困難を乗り越えていく生命のレジリエンス(Resilience, 回復力)が本来備わっていることを知ってもらいたいという想いからです。

4. 人間のもつ普遍的価値

フランスの大脳生理学者であるジャン＝ピエール・シャンジュー(Jean-Pierre Changeux)は「別の惑星から眺めたら、人間の振る舞いは実に驚くべきものに見えるであろう。人間は意識して同胞を殺す稀な動物種の一つである。ケストラーが強調するように、それは人間の大脳組織の中に『永久のものとして』確かに刻み込まれているのである」と述べています[4]。一方で、芸術家の宮島達男氏は哲学者のルソー(Jean-Jacques Rousseau)の言葉を引用しながら「人の痛みを想像できる力こそ、最高の想像力である」と述べています[5]。人類が営々として築きあげてきた「生命尊厳」の原則は、時に“挑戦と応戦”を繰り返しながらも人間のもつ普遍的価値にまで昇華されてきました。若者による悲惨な事件を体験した今こそ、若い彼らに「生命とは何か」を語りかけ、思索の機会を共有することは意義のあることであると思います。

5. 終わりに

私立大学の存在の生命線は、創立の理念に共感しそれを体現しようと集った教職員と学生の熱量だと思います。拠って立つ創立の理念が高邁であればあるほど、人類の普遍的価値の創出こそがその大学の使命です。健大精神である「自利利他」と建学の理念である「人類の健康と福祉に貢献する」の根底には「生命の尊厳」すなわち「誰人であっても生命は尊い」という人間のもつ普遍的価値が包含されています。普遍的な価値を見出すためには、その基盤である「生命を知る」ことが不可欠です。健大での学びの根幹には「生命学」があることを私達は再認識し、次代を担う学生の教育に資することが重要であると考えています。

1) Preston & Wilson 著 Lippincott's Illustrated Reviews: Physiology, 2nd ed. 2019年 Wolters Kluwer社
2) 加藤浩美 著「たったひとつのたからもの 息子・秋雪との六年」2003年 文藝春秋
3) 山下京子 著 彩花へ―「生きる力」をありがとう 1998年 河出書房新社
4) Jean-Pierre Changeux 著 L'HOMME NEURONAL 1989年 みすず書房
5) 月刊・潮 2025年12月号

学科 Topics 01

医療情報学科における広報活動の取り組み

医療情報学科　講師　髙橋　真悟

医療情報学科では、学科の魅力をより多くの方々に伝えることを目的として、さまざまな広報活動を展開しています。新たに作成したA4サイズ両面のチラシは、高校生や保護者の方々に興味を持っていただけるよう、表面をキャッチーなデザインで構成し、学修支援体制や卒業研究の具体例を掲載しています。裏面には本学科の最大の強みである就職実績を詳しく紹介し、学科の強みや将来像をイメージしやすい構成としました。完成したチラシは、オープンキャンパスや大学説明会、高校生の大学訪問等で配布するほか、大学への資料請求時にも同封し、学科の認知度向上と受験生への情報提供に活用する予定です。

また、インターネットを活用した情報発信にも積極的に取り組んでおり、学科専用の特設サイトや学科PV動画の公開、学科公式インスタグラムでのトピックス紹介などを通じて、学科の魅力を広く発信しています。特設サイトでは、学修内容や特色に加えて在学生、卒業生のインタビュー記事を多数掲載しており、本学科での学びを具体的にイメージできる内容となっています。特設サイト内の学科PV動画は学科での学びの様子を映像で紹介し、視聴者に"カッコイイ"と思われるように工夫しました。インスタグラムでは、学内イベントや学生の活動などをタイムリーに発信し、高校生や保護者との接点づくりのツールとして運用しています。投稿は、学科での学びや学生生活をより身近に感じていただけるよう、発信内容にも工夫を重ねています。

今後も各種媒体を連携しながら効果的に活用し、本学科の魅力を継続的に発信して、受験生をはじめ多くの方々に医療情報学科を知ってもらえるよう、より一層取り組んでまいります。



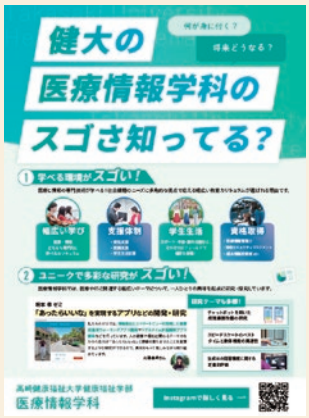
▲学科 PV 動画



▲学科 SNS



▲特設サイト



▲学科広報用チラシ

学科 Topics 02

大学院　保健福祉学専攻におけるパルマ大学交換留学生の受け入れ ～Hikikomoriの研究から新時代を見つめ直す～

社会福祉学科　教授　池田　朋広

ひきこもり現象は日本で最初に報告され、精神科医の斎藤環が、1998年に出版した自身の著書『社会的ひきこもり―終わらない思春期』で、「社会的引きこもり」のWordを使ったことがきっかけで、世間の関心が高まったと言われています。現在では、国際的に「Hikikomori」のワードで、注目が高まっています。

パルマ大学のオッタビア・ゴレリさんは、こうしたひきこもりや、ネット、ゲーム依存の若者に対する支援における日本の現状を視察すると共に、ひきこもりに関連する日本人とイタリア人の異文化間の差異を分析するために、日本にやってきました。研究は、上原徹教授のご指導の下で実施し、現地視察の調整を私が行いました。

現地視察のメイン企画は、①斎藤環先生との意見交換と、つくばダイアローグハウスの見学でした。斎藤先生は、イタリアでもひきこもりの研究者として広く知られている方であり、オッタビアさんもお会いすることができてとても感激されておりました。また、半年の滞在期間中に、②NPO法人群馬ダルクの依存症プログラムと、③群馬ダルクの家族会に複数回参加することで、ネットやゲーム依存でひきこもり経験のある当事者の方やそのご家族と、長めの時間を取ってインタビューを実施する機会もつくることができました。群馬ダルク代表の福島シヨーン・パトリックさんが、通訳として多くの支援者や当事者の方とのつなぎ役をしてくださったおかげで、多くの方々と関わることができ、ひきこもりに関連する日本の状況への学びを深めることができたようです。加えて、④群馬県地方裁判所にて覚せい剤事犯の裁判の傍聴、⑤国立精神・神経医療研究センター医療観察法病棟の見学も行いました。国内にいても、なかなか叶わない見学先も多く、そういった意味では、この交換留学によって、多くの特別な機会を得ることができたものと思います。

この度、オッタビアさんの人柄や、明るく元気で、物怖じしない性格によって、彼女に関わった私たちの方が元気と勇気をもらったように思います。イタリアは1978年にフランコ・バザーリアによる精神科医療改革によって制定された「180号法（通称バザーリア法）」によって、単科の精神科病院を全廃し、地域精神保健センターを中心とした地域医療体制へ移行した国として世界的に有名です。逆に日本は、世界一精神科病院の多い国として有名であり、国連障害者権利委員会から繰り返し勧告を受けている状況にあります。これは、大きく日本社会における福祉のあり方や、日本人の寛容性の乏しさに影響されるものではないかと考えさせられました。日本人の協調性の高さや慎ましさが、ともすれば、不寛容や排除につながっていないか、もう一度、我がこととして見つめなおし、新時代に向けて考え新たに、出直さなければならないのかもしれません。

私自身、オッタビアさんとの関わりや視察の同行から、イタリアとの文化や考え方の違いを知ることができ、とてもよい学びになりました。素晴らしい機会をくださった、ターン先生をはじめ国際交流センターの皆さま、および学内関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。


▲つくばダイアローグハウスにて
中央：斎藤環先生　右端：オッタビアゴレリさん


▲国立精神・神経医療研究センターにて
池田ゼミ生らと共に


▲高崎健康福祉大学１号館にて
交換留学最終報告会

学科 Topics 03

「食」を通して、学びを地域へ ― 学生たちの多様な取り組み

健康栄養学科 准教授 阿部 雅子

健康栄養学科では、授業で学んだ栄養学や調理学の知識を日常生活の「食」につなげ、地域の方々へ届ける取り組みを進めています。学生たちは、食べる人の健康やおいしさを追求するだけでなく、地域食材や食文化にも目を向けながら、さまざまな活動に挑戦しています。

■地域×企業との共創「緑のポタージュ」の開発

その成果の一つが、卒業研究の一環として開発に携わった「緑のポタージュ」です。地域の野菜を活用し、常温保存が可能で災害時の備蓄食品としても役立つ商品を目指しました。この取り組みは「ぐんま未来イノベーションLAB」のマッチングにより、高崎市内でパスタを提供する「マカロニ」様との共創により開始しました。学生たちはレシピの検討や試作、味・食感の評価を重ねて商品を形にし、令和8年5月には「コープぐんまフェスタ」に参加、7月には「JAファーマーズ（高崎棟高店・吉井店）」での店頭販売を実施しました。自ら試行錯誤を重ねた成果が地域の方々に届く体験は、学生にとって大きな学びと成長の糧となっています。

■世代をつなぐ食育実践「親子わくわくクッキング」

また、附属幼稚園との連携事業「親子わくわくクッキング」は、2008年度から受け継がれている食育実践の場です。今年度は沖縄県の「タコライス」や、群馬県嬬恋村の伝統食品「くろこ」を取り入れたメニューを企画し、参加した親子と一緒に調理を楽しみました。食材に触れ、苦手な野菜にも進んで挑戦する子どもたちの姿を間近で見ることで、学生たちは食育が持つ可能性と影響力を実感しています。

■企業の技術を科学的に探究する共同研究

さらに研究活動においては、伊勢崎市の食肉加工企業「クリマ」様との共同研究として、「氷温熟成 氷室豚」をテーマに科学的な探究を行っています。低温環境での熟成や調理加工がもたらす肉のやわらかさ、風味、たんぱく質の変化などを実験やデータ解析によって検証し、「なぜおいしくなるのか」という身近な疑問を科学的に解明する探究心を養っています。

■未来へつなぐ実践的な学び

商品開発、食育活動、学術研究などアプローチは多様ですが、一貫しているのは「食を通して人や地域と関わり、自ら考え行動する」という姿勢です。今後も講義室で得た学びを地域での実践につなげ、管理栄養士を目指す学生たちの挑戦と成長を応援してまいります。



▲商品化した「緑のポタージュ」



▲JAファーマーズ高崎吉井店での店頭販売



▲JAファーマーズ高崎棟高店での店頭販売


▲「氷室豚」の研究発表の様子


▲郷土料理を取り入れた献立


▲「親子わくわくクッキング」の様子

学科 Topics 04

群馬大学医学部 医学研究実習を受け入れました

薬学科 教授 福地 守

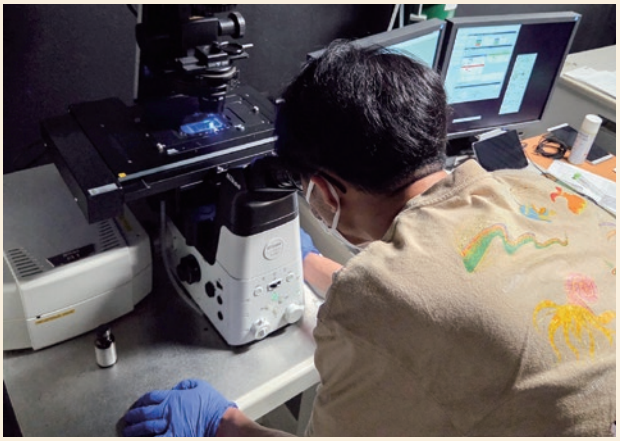
本学薬学部では、令和3年度より群馬大学医学部医学科3年生を対象とした「医学研究実習」の受け入れを行っています。本実習は、医学部生が約1か月間研究室に所属し、基礎医学・生命科学研究を体験する教育プログラムであり、希望者は本学の研究室でも実習を行うことができます。

本年度も本学薬学部では4名の学生を受け入れました。学生は、配属された研究室の研究テーマを進めるための実験手法を学ぶだけでなく、研究を進めるための実験計画の立案や結果の解釈・考察を通して、研究に必要な能力、そして自ら考える姿勢を身につけます。臨床医学では得ることのできない基礎研究ならではの試行錯誤を経験したことは、今後医師として研究論文を読み解き、新たな医療を創造していく上で貴重な経験となったものと思います。

一方、本学の卒業研究生にとっても、異なる大学・異なる学部の学生とともに研究を進めることは大きな刺激となります。実験方法を教え合ったり、研究内容について議論したりする中で、互いに新たな視点を得る機会となり、研究室全体の活性化にもつながっています。

今後も本学では、大学間交流を通じた研究教育活動を積極的に推進し、未来の医療を担う人材の育成に貢献してまいります。


▲実験に使用する培養細胞の準備中


▲共焦点レーザー顕微鏡を使った細胞観察


▲実験の合間にラボメンバーと記念撮影

学科 Topics 05

看護学科保健師課程、公衆衛生看護学実習について

看護学科　准教授　赤堀八重子

保健師は、地域や職域で人々が健康に生活できるように、健康維持・増進、疾病予防に向けた支援を行う地域の看護職です。活動範囲は、母子保健、成人保健、高齢者保健、難病保健、精神保健、感染症、健康危機管理、産業保健など多岐にわたります。

本学科保健師課程の学生は20名の選択制で、講義・演習は3年次前期の7月から、臨地実習は3年次後期1月からスタートします。特に、公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱは、保健師の役割や技術を知るうえでとても重要な科目です。

実習Ⅰは1単位の実習で、産業保健および学校保健について学びます。学校保健の実習先は高崎健康福祉大学高崎高等学校です。実習指導を担当してくださる養護教諭は本学科の卒業生であり、学生にとっては活躍する先輩の姿を間近に感じながら学ぶ貴重な機会となっています。

実習Ⅱは、保健所および市町村を実習先とし、保健事業への参加・見学に加えて、学生自身が企画した健康教育にも取り組みます。地域の実情に即した健康教育とするため、保健師の方々から指導を受けながら内容を修正し、本番に臨みます。事前準備には多くの時間をかけますが、住民の反応を直接確かめられることは、学生にとって大きな学びです。実践を通して達成感を得るとともに、保健師に求められる技術への理解を深めています。

今年度の実習Ⅱは、5月～7月にかけて実施しました。報告会では、それぞれの実習地域の特徴や健康課題を共有し、地域特性に合わせた支援の重要性などについて理解を深めることができました。

保健師課程は、看護師国家試験と保健師国家試験の両方に合格し、看護師免許と保健師免許を取得することが目標となります。2つの国家試験合格に向けて、学生が自身の力を十分に発揮できるように、これからもサポートしていきたいと思います。



▲公衆衛生看護学実習Ⅱ（健康教育の様子②）



▲公衆衛生看護学実習Ⅱ（健康教育の様子①）



▲公衆衛生看護学実習Ⅰ（学校保健）

学科 Topics 06

卒業後も学び続けられる学科へ ―博士後期課程が開設しました

理学療法学科　准教授　冨田　洋介

理学療法学科では、卒業後も専門性を高め、臨床・教育・研究の各分野で活躍できる人材を育成するため、大学院教育の充実に取り組んできました。本学大学院保健医療学研究科理学療法学専攻は、群馬県内で唯一、理学療法学に特化して学ぶことのできる大学院です。2018年度に修士課程を開設し、2026年度からは博士前期課程へと名称を改めるとともに、新たに博士後期課程を開設しました。これにより、学部教育から博士課程まで、一貫して理学療法学について学びを深めることのできる教育体制が整いました。

博士前期課程では、「臨床理学療法学」と「地域理学療法学」の2領域を中心に、臨床や地域で生じる課題を研究につなげ、科学的に解決する力を養います。また、医療機関等で勤務する理学療法士も学びやすいよう、夜間・週末の授業や、2年・3年の修学コースを設けています。2018年度の開設から2026年度までの9年間で計35名が入学し、これまでに25名が修士（理学療法学）の学位を取得しました。

新設した博士後期課程では、これまでの2領域を統合し、基礎理学療法学、神経・発達理学療法学、運動器・スポーツ理学療法学、加齢・予防理学療法学の4分野を設けています。学生は、それぞれの専門分野を深めながら、自ら研究課題を設定し、研究成果を国内外へ発信するとともに、その成果を保健・医療の発展に還元できる力を身につけます。専門科目では英語教材も活用し、国際的に研究成果を発信する能力の育成も重視しています。

開設初年度となる2026年度には、本学理学療法学科の卒業生3名が博士後期課程に入学しました。学部で理学療法の基礎を学び、卒業後に臨床経験を積み、大学院でさらに専門性と研究能力を高める。こうした継続的な学びの場を本学の中に整えることは、理学療法学科の卒後教育を充実させるうえで大きな一歩です。

博士後期課程の開設は大きな節目ですが、ここからがスタートです。今後も、卒業生が臨床・教育・研究の現場で生じた疑問を大学に持ち帰り、教員や大学院生とともに探究し、その成果を再び社会へ還元していくことのできる学科を目指して、卒後教育と研究環境のさらなる充実を図ってまいります。



▲学位論文発表会の様子



▲大学院生の研究測定の様子



▲2026年度理学療法学専攻入学生の3名

学科 Topics 07

ランダウ大学学生が本学を初訪問 日独の教育を見つめ、交流を深める

子ども教育学科　准教授　鈴木　文也

2026年4月20日から約2週間、ドイツのラインラント・プファルツ州にあるカイザースラウテルン・ランダウ大学から学生4名ならびに Dr. Ami Kobayashi, Dr. Véra Leon を迎え、教育・文化交流プログラムを実施しました。本学へのドイツ学生の来学は今回が初めてとなります。

本学ではこれまで、学生をドイツへ3回派遣しており、今回の受入れは交流をさらに発展させる機会となりました。滞在中は、本学の授業への参加や講義の受講に加え、附属幼稚園・高校、高崎市内の小中学校、特別支援学校、児童養護施設、くらぶち英語村など、多様な教育現場を訪問しました。各現場で活発な質疑応答や意見交換が行われ、ドイツの教育制度と比較しながら、日本の教育実践や子どもへの支援について理解を深めました。最終日には、訪問を通して得た学びや日独の教育の違いについて発表を行いました。

また、これまでドイツを訪問した本学学生を中心に、だるまの絵付け、榛名神社や伊香保温泉の散策、食事会などを企画し、ドイツの学生を群馬各地へ案内しました。和太鼓集団「舞」による演奏鑑賞・太鼓体験やホームステイも行われ、交流を深めました。滞在の終わりには、学生同士が再会を誓い合う姿も見られました。

今回の交流を通して、学生たちは異なる教育制度や文化への理解を深め、国際的な視野を広げる貴重な機会となりました。今後も、学術交流協定（MOU）に基づき、地方における保育者・教員養成を担う大学同士として、連携をさらに発展させていきます。


▲ ドイツ学生と本学学生との群馬での交流


▲ 最終日の学びの発表


▲ 和太鼓集団「舞」の皆様と


▲ 1年生の授業に参加するドイツ学生

学科 Topics 08

「広げる未来プロジェクト」および「健大パートナーシッププログラム」を開催いたしました

心理学科　准教授　政本　香

高崎健康福祉大学 人間発達学部 心理学科は、令和8年4月に第1期生を迎え、歩みを始めたばかりの新しい学科です。今後、学内外の多様なステークホルダーの皆様と連携を深め、共に発展していきたいと考えております。今回は、本学科として初となる学外向け行事として、6月27日に開催いたしました「広げる未来プロジェクト」および「健大パートナーシッププログラム」の模様をご報告いたします。

今回の講義テーマは「心理学を学んでもひとのこころは読めません。―こころを『読む』のではなく、データを『編む』心理学の世界―」です。講義中には記憶を題材とした「ミニ実験」を取り入れ、高校生自身に実験の参加者となっていただくことで、心理学の科学的なアプローチや基本的な考え方を体感していただきました。

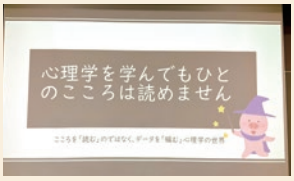
当日は休日にもかかわらず、33名の高校生と1名の引率の先生にご参加いただき、終始熱心に受講していただきました。

「心理学」と聞くと、「ひとのこころが読めるようになる」「カウンセリングを行う」といったイメージをお持ちの方が少なくないかもしれません。しかし、心理学を学んだからといってひとのこころが読めるようになったり、相手をコントロールできるようになったりするわけではありません。また、心理学はカウンセリングだけに留まるものでもありません。本来の心理学とは、実験や調査といった客観的な手法を用い、ひとのこころを科学的に検証していく学問です。

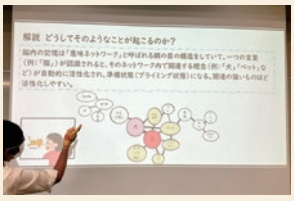
そこで本学科では、心理学に関心を持つ高校生が「大学で学ぶ心理学」の実際を具体的にイメージできるよう、実践的な体験プログラムを企画・実施いたしました。

終了後のアンケートでは、「心理学の本質や面白さを知ることができた」「ミニ実験が楽しく、学びが深まった」「大学でさらに心理学を追究したくなった」といった温かいメッセージを多数頂戴いたしました。ご参加くださった皆様にとって、心理学への興味や探求心を深める絶好の機会となったのではないかと感じております。

今回の講義は学科教員を代表して政本が担当いたしましたが、本学科には多様な専門性と個性あふれる魅力的な教員がそろっております。今後も皆様の知的好奇心を刺激する魅力的なプログラムを展開してまいりますので、どうぞご期待ください。



▲ 講義テーマ


▲ 講義の様子


▲ ミニ実験の様子



▲ 高大連携のチラシ

学科 Topics 09

附属農場の紹介

生物生産学科 農場運営委員会

当学附属農場は農学部設立の翌年に開設され、今に至っています。約1haの広さを持ち、5連棟の高機能グリーンハウス、水田圃場、畑圃場、およびドローン練習場が配置されています。他大学の附属農場と比較すると、広さではかないませんが、校舎が道路を挟んですぐ隣にあるという圧倒的な距離の近さが特徴です。農学部生への作物園芸関連の実習や卒論研究の場としての機能はもちろんのこと、様々な活動が行われていますので紹介します。

農学部では農場実習が通年の必修科目になっており、2年生全員が農場の露地圃場での実習を経験することになります。4月当初のジャガイモの植え付けから始まり、ナス苗の定植やサツマイモの植え付け、水田での田植え等の作業の合間にナスやジャガイモの収穫などもあります。後期には稲刈り、サツマイモの収穫の他、ダイコンやホウレンソウも栽培します。思い起こすと筆者が学生の頃は、教員から「学生諸君が手植えしてくれた田んぼが毎年収量が一番なんだよ」とおだてられながら田植えに参加していたものでしたが、さて、うちの田んぼはどうでしょうか？

3年生については、作物園芸システムコースの学生に対し、特別実験・実習として水稲の収量解析やICTセンシング実習やドローンの飛行練習、それに温室内でトマトやイチゴの生育・品質等に関する実験実習を行います。また、農学部内における加工実習への食材の提供も行っています。

一方、4年生の卒業研究としては、水稲、ナス、ネギ、イチゴ、トマト、メロン、大葉など様々な品目を対象とした研究が進められているほか、附属農場の外でも、外部の圃場や現地試験としてベニバナインゲン、アスパラガス、リンゴなどを対象としたものがあります。今年度は時節柄猛暑対策を意識したテーマが目立つのが特徴です。今後に向けて、熱帯果樹や花きなどに対象品目を広げる準備も始めています。

また、農場の一角には本格的な気象観測システムが設置されており、近辺に正式な観測サイトがないことから、貴重な存在ともなっています。

さらに、学内での協力・連携活動として、例えば健康栄養学科における調理学実習などへの食材の提供、子ども教育学科の学生と身体に障がいのある子どもを対象としたイチゴ収穫や田植えの体験、附属幼稚園児を対象とした田植え・稲刈りの体験などの機会を提供しています。また、夏と春のオープンキャンパス行事における農場ツアーをはじめとする様々な視察、見学の依頼に対応しています。

これらの活動を支えてくれるのが2名の圃場作業の専門家、フィールドスタッフの存在です。おかげで附属農場には1年中何かがありますので、ぜひ気軽に訪ねてみてください。



▲2年生全員による田植え風景（作物園芸実習）

VSC
（ボランティアセンター・市民活動支援センター）

復活！災害復興スタディツアー「東日本大震災のリアルを感じよう」

東日本大震災から15年が経ちました。これを読んでいる貴方は15年前の震災の記憶はどのくらいあるでしょうか。今の学生たちに聞いたところ当時幼児で、うっすらと覚えているもしくはほとんど記憶にないようでした。

群馬県では局所的に大雨災害で被害を受けた地域があるものの、大規模な自然災害に見舞われたことがありません。東日本大震災で起きたことをリアルに感じてもらうことで、今後大きな災害が起きたとき、被災地にはどんなニーズがあり、一市民として何ができるのかを考えるきっかけになればと考え、このツアーを計画しました。

災害復興スタディツアーについては過去に5回ほど実施をしていますが、今回は初めて福島県の被災地域を訪問しました。福島県は地震・津波災害に加え、「原発事故」による被害、特に風評被害にあった地域です。今も放射線量はモニタリングされ、生活に問題ないレベルですし、農産物も問題ないことが確認されていますが、当時は、問題がなくても「差別」されるという悲しい出来事がずいぶんあったということでした。

見学先のどこに行っても、みなさん親切に、当時のことをしっかり教えてくださいました。震災遺構は当時のまま残されている施設なので、よりリアル感があったと思います。

今後、ボランティアの一員として、もしくは専門職団体の一員として、被災者の支援活動に参加する一歩を踏み出してほしいと考えます。

★災害復興スタディツアー見学地・内容★ 【実施日】7月4日(土)～5日(日) 1泊2日

一日目
災害公営住宅見学(徒歩移動)
↓
松川浦大橋・大須海岸・夕顔観音堂
↓
(車窓・解説)相馬双葉漁協・漁具倉庫など
↓
相馬伝承鎮魂祈念館・慰霊碑　説明
震災語り部の方より語り
↓
浜の駅松川浦
↓
(夜)宿にてふりかえりの会

二日目
(車窓・解説)松川浦大橋・磯部メガソーラー
↓
消防団慰霊碑・相馬市防災備蓄倉庫見学
↓
医療講話「看護師として、一人の被災者として」
(地震・津波・原子力災害を経験して)
↓
震災遺構・浪江町請戸小学校見学(ガイド付き)
↓
東日本大震災・原子力災害伝承館見学


3/11震災当日の話にひきこまれる


備蓄品の使い方も訓練が必要


震災時の専門職の役割を質問


震災遺構で津波の威力を実感

Takasaki University of Health and Welfare

ベストティーチャー賞 Congratulations

BEST TEACHER AWARD

健康栄養学科 應本　真 教授

この度は、ベストティーチャー賞という身に余る栄誉を賜り、大変光栄に存じます。私が本学に着任してから、5年が経ちました。着任当初は、それまで教育経験がほとんどなかったこともあり、私自身はもちろん、周りの先生方にも「こいつで大丈夫かな？」という不安があったのではないかと思います。今回の受賞によって、その不安を少しでも払拭できていれば嬉しく思います。そして、これまで支えてくださった皆様、そして授業を真面目に(？)受けてくれた学生の皆さんに、心より御礼申し上げます。

この賞を励みとして、今後も学生一人ひとりに寄り添い、より良い教育に努めてまいります。また、研究にも一層力を注ぎ、その成果を教育へと還元することで、学生の学びにつなげていきたいと考えています。まだまだ至らない点も多くございますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

薬学科 山際　教之 教授

この度はベストティーチャー賞をいただき誠にありがとうございました。日々の教育活動をこのような形で評価していただいたこと、大変嬉しく思います。今後も学生への教育に、より一層励んでいく所存です。

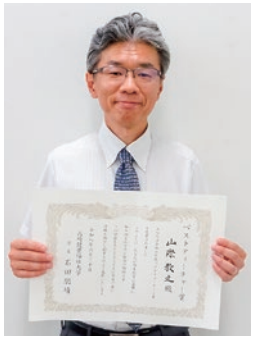
私が担当している有機化学の授業では副教材として分子模型を採用しています。授業中に自ら模型を組み立て、様々な角度から眺めることで、分子の立体的な特徴やそれに由来する反応性などを実践的に理解できるよう工夫しています。講義・模型・演習を織り交ぜるため授業の進行は遅れがちになりますが、理解しやすく記憶に残りやすい授業が展開できればと考えています。この取り組みは学生に好評なため、今後も継続していこうと考えています。

子ども教育学科 今井　麻美 講師

栄誉あるベストティーチャー賞をいただき、心より感謝申し上げます。学生の皆さんには、授業という営みへいつも協力的に参加してくれることに感謝しています。また、日々支えてくださる教職員の皆さまにも感謝申し上げます。

私が授業を担当する保育分野では、「子どもは他者に受け入れられた経験を基盤に、自らが他者を受け入れるようになる」と考えられています。つまり、学生が周囲の人々から受けた関わりは、将来「先生」となったときの関わりへ生かされるということです。私も、自らの関わりが、将来「先生」となった学生の関わりへとつながっていることを、常に心に留めながら教育に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。


▲應本真 教授


▲山際教之 教授


▲今井麻美 講師



新入職員紹介


▲左から
総務部情報システム管理課　榎本 真美
教学部学生課　坂本 永吉

皆さん、こんにちは。総務部情報システム管理課の榎本と申します。

私は健大高崎高校出身で、先生方の熱いご指導を受け充実した高校生活を送りました。思い入れのある本学園で働けることに感謝し、日々の業務に励んでいます。

情報システム管理課の業務は、教育研究用システムの構築・運用、インフラ整備、セキュリティ対策、ヘルプデスク対応など多岐にわたります。近年はICT教育やAI利活用が促進されていますが、技術は瞬く間に進んでいくため私自身も必死に勉強しているところです。

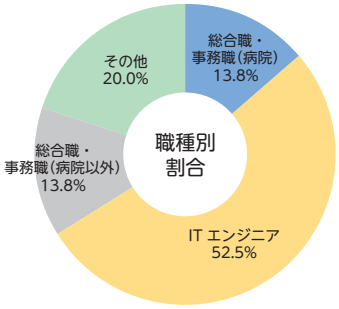
今後も初心を忘れずに教職員の皆さんの円滑な業務や学生の学修をサポートし、本学園の発展に微力ながら貢献できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

高崎健康福祉大学
Takasaki University of Health and Welfare

キャリアサポートセンター



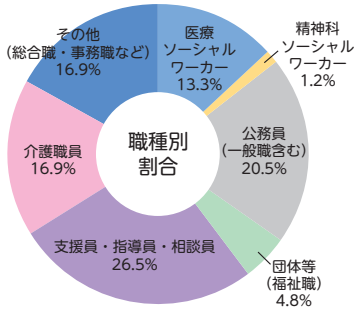
健康福祉学部 医療情報学科



- ◎病院：北里研究所４名／順天堂／慈恵大学／埼玉医科大学／前橋赤十字病院／千葉県済生会習志野病院／IMSグループ／利根中央病院
- ◎企業(メディカル系)：サンドラッグ／アインホールディングス／クスリのアオキ
- ◎企業(IT系)：ビー・エム・エル４名／富士フイルムメディカルITソリューションズ／日立システムズフィールドサービス／エヌ・ティ・ティ エムイー２名／パーソルクロステクノロジー２名／マーブル／日本情報産業３名／アロフト・システム／ユニ・テクノロジー／ハイミン・エンタープライズ／ジーシーシー６名／両毛システムズ５名／システム・アルファ３名／ナブアシスト／OPENER／ITQUEST／サンコー・インダストリアル・オートメーション／シーエスアイ2名／日立ハイシステム21／ハイマックス／ワイズ／ビーネックスソリューションズ／インテック／ソフトウェア・サービス
- ◎企業(一般)：古河機械金属／月星商事／大成技研／BREXA Technology／NST／IDOM／東横イン／東和銀行／利根郡信用金庫／群馬日産自動車／岡田工業／D'station／COOTS／ネクスコ・パトロール東北／ホンダモビリティ北関東／新明電材／イナホスポーツ／オリエンタルランド
- ◎官公庁：警視庁2名／群馬県警察／茅野市

就職率：100%

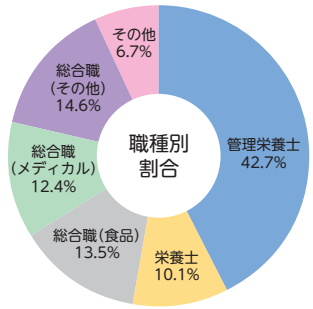
健康福祉学部 社会福祉学科



- ◎病院：高崎総合医療センター／伊勢崎市民病院／須藤病院／角田病院／上尾中央医科グループ５名／圏央所沢病院／宇都宮東病院／西熊谷病院／原宿リハビリテーション病院
- ◎福祉団体：さいたま市社会福祉協議会／上尾市社会福祉協議会／行田市社会福祉協議会／台東区社会福祉事業団
- ◎福祉施設：三愛荘／三晃福祉会／ドルフィン上小出／はるな郷／希望館／明清会／さわらび医療福祉センター／太田松翠会／コンフォートプレイス／新町第一小児童クラブ／雀幸園２名／児童養護施設江南／ささの会／円福寺愛育園／イースターヴィレッジ／中野区さつき寮／ハッピーライフケア／エフィラグループ／ひまわり福祉会／福島県福祉事業協会／きずなの会／あじさい園／特別養護老人ホームなゆた／特別養護老人ホームgreen rose／特別養護老人ホーム心の里／敬愛会2名／かがやき／永寿荘／エフビー介護サービス／ベネッセスタイルケア／ケアリッツ・アンド・パートナーズ／苗場福祉会3名／静岡市厚生事業協会
- ◎企業他：ホンダカーズ群馬／ベイシア／群馬トヨタ自動車／一条工務店群馬／桐生信用金庫／高崎市農業協同組合／全国農業協同組合連合会栃木県本部／ SUBARU ／オープンハウス／リライアブル／クスリのアオキ／KeePer技研
- ◎官公庁：埼玉県４名／栃木県／愛知県／高崎市／藤岡市２名／富岡市／大泉町／本庄市／ふじみ野市／つくば市／大田区／魚沼市／群馬県警察

就職率：98.8%

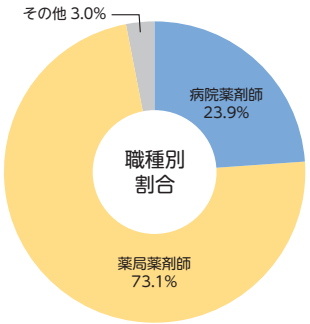
健康福祉学部 健康栄養学科



- ◎病院：群馬県立がんセンター／美原記念病院／月夜野病院／行田総合病院／圏央所沢病院／長野松代総合病院／東新潟病院／古河赤十字病院／佐野厚生総合病院／本庄総合病院／ふかや夢デンタルクリニック／きずなデンタルクリニック／上州眼科伊勢崎
- ◎福祉施設：清光会／敬老園／特別養護老人ホーム杏寿荘／苗場福祉会2名
- ◎保育園・認定こども園：第二はと保育園／せんだん保育園／学研ココファン・ナーサリー2名
- ◎受託給食会社：エームサービス6名／コンパスグループ・ジャパン3名／LEOC5名／日清医療食品4名／グリーンハウス／魚国総本社
- ◎薬局・ドラッグストア：ファーマ・プラス／水戸薬局／トモズ／サンハルク／鈴木薬局／クスリのアオキ４名／薬王堂／クリエイトエス・ディー／富士薬品／マツモトキヨシ／サンドラッグ／ウエルシア薬局／モリキ
- ◎食品系企業：ノンピ／マンナンライフ２名／ホームデリカ／すかいらーくホールディングス／銀座コージーコーナー／ウェルネスダイニング／ジェーシーボトリング／JALロイヤルケータリング／堀川／ミホミ／コスモフーズ／東京めいらく／フレッセイ／ヤオコー２名／埼玉北部ヤクルト販売／北日本吉野家／ワタミ／ドトールコーヒー／イオンリテール／ロック・フィールド／リバーズミートDELI
- ◎その他企業：群栄化学工業／CTCシステムマネジメント／セントラルスポーツ／WDBエウレカ社／トヨタレンタリース群馬／LIFE CREATE
- ◎官公庁：埼玉県／安中市
- ◎進学：高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科2名

就職率：95.7%

薬学部 薬学科



- ◎大学・国立公立・公的病院：群馬大学医学部附属病院３名／千葉大学医学部附属病院／帝京大学ちば総合医療センター／埼玉医科大学／国立病院機構北海道東北グループ／国立病院機構関東信越グループ／前橋赤十字病院／伊勢崎市民病院／組合立諏訪中央病院
- ◎一般病院：石井病院／西吾妻福祉病院／沼田脳神経外科循環器科病院／岡病院／浅草病院
- ◎薬局・ドラッグストア：カワチ薬品7名／アインホールディングス5名／クスリのアオキ5名／日本調剤4名／ユニスマイル4名／総合メディカル3名／スギ薬局3名／なの花薬局2名／さくら薬局グループ2名／ファーマみらい2名／クリエイトエス・ディー２名／イオンリテール２名／太田中央薬局／クスリのマルエ／ひまわり薬局／有限会社つばさ薬局／フォルマン／ウエルシアホールディングス／エスシーグループ／地域ヘルスケア連携基盤
- ◎その他：日本天然物研究所／キッセイ薬品工業

就職率：100%

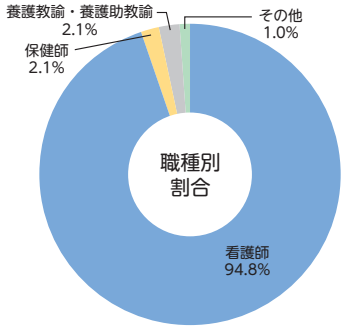
You can do it!

令和8年3月卒業生就職内定先一覧

（令和8年7月1日現在）



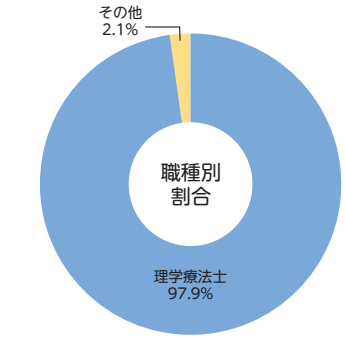
保健医療学部 看護学科



- ◎大学病院：群馬大学医学部附属病院3名／信州大学医学部附属病院3名／自治医科大学附属さいたま医療センター5名／埼玉医科大学4名／東邦大学医療センター大森病院6名／東京医科大学八王子医療センター2名／聖マリアンナ医科大学病院2名／北里大学病院／東海大学医学部付属病院2名／千葉大学医学部附属病院
- ◎国立・公立病院：高崎総合医療センター3名／渋川医療センター／群馬県立病院／伊勢崎市民病院8名／公立藤岡総合病院4名／埼玉県立病院機構2名／東埼玉病院／長野県立病院機構／信州上田医療センター／新潟県病院局
- ◎公的病院：前橋赤十字病院11名／群馬県済生会前橋病院9名／足利赤十字病院4名／虎の門病院／武蔵野赤十字病院
- ◎一般病院：<県内>善衆会病院／太田記念病院／鶴谷病院／東邦病院／くすの木病院2名
<県外>イムス富士見総合病院2名／医療生協さいたま生活協同組合2名／彩の国東大宮メディカルセンター 2名／行田総合病院／湘南厚木病院
- ◎学校教育：埼玉県教育委員会／栃木県教育委員会2名
- ◎官公庁：大泉町／中之条町
- ◎進学：高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科2名

就職率：100%

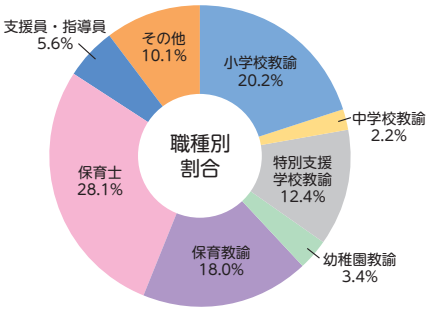
保健医療学部 理学療法学科



- ◎大学病院：群馬大学医学部附属病院／金沢医科大学病院
- ◎公立・公的病院：群馬県立心臓血管センター／伊勢崎市民病院／前橋赤十字病院／群馬県済生会前橋病院／埼玉県立循環器・呼吸器病センター 2名／深谷赤十字病院／富山県立中央病院
- ◎一般病院：イムス太田中央総合病院／石井病院／内田病院／上牧温泉病院2名／黒沢病院／善衆会病院2名／月夜野病院／角田病院2名／鶴谷病院／利根中央病院2名／北毛病院／美原記念病院／老年病研究所附属病院／群馬リハビリテーション病院／恵愛堂病院／榛名荘病院／ぐんまスポーツ整形外科／あさくらスポーツ・リハビリテーション・クリニック2名／和光リハビリテーション病院／圏央所沢病院／原田病院／原宿リハビリテーション病院／牧田総合病院／相澤病院／医療法人アレックス／新宇都宮リハビリテーション病院／リハビリテーション花の舎病院／宇都宮記念病院
- ◎福祉施設：イムスやぶつかロイヤルケアセンター 2名／サンホープ笠懸
- ◎企業：マッシュホールディングス

就職率：100%

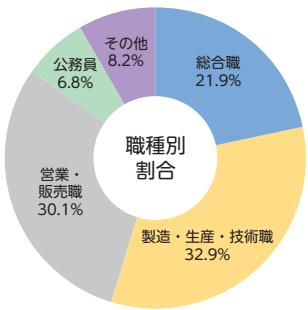
人間発達学部 子ども教育学科



- ◎学校教育：<小学校>群馬県教育委員会6名／埼玉県教育委員会7名／新潟県教育委員会4名／栃木県教育委員会
<中学校>群馬県教育委員会2名
<特別支援学校>群馬県教育委員会5名／埼玉県教育委員会5名／栃木県教育委員会
- ◎公立／幼稚園・認定こども園・保育園：前橋市2名／高崎市／邑楽町／中之条町／世田谷区／佐野市2名／佐久市／中野市／新潟市
- ◎私立／幼稚園・認定こども園・保育園：幼保連携型認定こども園おりーぶの森／杉の子幼稚園／あさま幼稚園／認定こども園わかくさ幼稚園／幼保連携型認定こども園相愛館／幼保連携型認定こども園世良田の杜／幼保連携型認定こども園みどりのもり／認定こども園こひつじ幼稚園／認定こども園おおぞら幼保園／末広こども園／敷島幼稚園／桃瀬幼稚園／慈光こども園／ろっくひよこプリスクール／リトルガーデンしいのみ／エデュカーレ城之内／あさひ第二保育園／七里ふたばこども園／みやさと保育園／社会福祉法人育慈会／クマさん保育所／ KUMASAN／おおわだ保育園 世田谷豪徳寺／アイ・エス・シー／キッズガーデン横浜磯子／プロケア／南町保育会／宮の森こども園
- ◎福祉施設：児童発達支援センターつくし園／森の子園／ Reno wellness kids ／クルールとちぎ／中野区さつき寮／児童養護施設江南／特定非営利活動法人ピース／埼玉県社会福祉事業団2名
- ◎官公庁：埼玉県
- ◎企業等他：丸三証券／ポート／いちよし証券／ベルク／アカデミー／石井工務店／あさひ／力の源ホールディングス／GOOG
- ◎進学：HAC国際学園 群馬動物専門学校

就職率：100%

農学部 生物生産学科



- ◎官公庁等：群馬県2名／埼玉県／栃木県／栃木県警察／農研機構（種苗管理センター）／日本原子力研究開発機構
- ◎協同組合・農業団体：高崎市農業協同組合／北群渋川農業協同組合／佐波伊勢崎農業協同組合／新田みどり農業協同組合／よこすか葉山農業協同組合／生活協同組合コープぐんま／神流川森林組合
- ◎農業・種苗資材：カネコ種苗／林牧場／森ファームサービス／ JA全農くみあい飼料／アグロカネショウ／就農2名
- ◎流通・小売・外食：三井物産流通グループ／ベイシア／フレッセイ／ヤオコー／良品計画／パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス／クスリのアオキ／カインズ／ JA全農ミートフーズ／すかいらーくホールディングス／あきんどスシロー／東和フードサービス／東京荏原青果
- ◎食品製造業：正田醤油／新進3名／ヨコオデイリーフーズ2名／みまつ食品／群馬県食肉卸売市場2名／赤城乳業／シマダヤ関東／ホームデリカ／デイリーフーズコーポレーション／丸和油脂／波里
- ◎企業(その他の分野)：環境技研／アース環境サービス／和光化学3名／WDBエウレカ社2名／新東京病院／ヌクイ／セントラルエンジニアリング／日産部品群馬販売／ワールドインテック／ナブアシスト／The New Gate ／オープンアップITエンジニア／征峯会／江東微生物研究所／一条工務店群馬／荒井会計事務所／タマホーム／中国化薬／第一貨物／スタッフサービス／フジアルテ
- ◎進学：国立大学法人福島大学大学院食農科学研究科食農科学専攻
高崎健康福祉大学大学院農学研究科5名

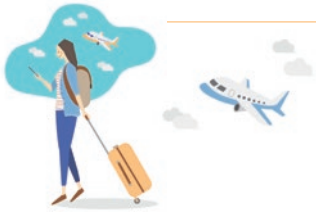
就職率：100%

※円グラフの構成比は小数点第２位を四捨五入しているため、合計値が 100%とならない場合があります。



国際交流センター

海外研修の報告



本学では学生が海外で学び、体験する交流プログラムを行っています。10か国13の提携大学を有し、語学（英語）研修のオーストラリアをはじめとして、研修地では、医療や福祉施設、教育機関を訪れるなど各人の専門的な学びを深めることが特徴です。参加学生は現地の学生と語学力や対応力を駆使して交流し、国境を越えた友情を育んでいます。また、異文化に触れ、外から日本を眺めることで、当たり前の日常を客観的に見ることも知ります。研修後は、各人の得た気づきや自信を糧に、充実した学生生活へとつなげています。その中で、外部からの奨学金を得て個人留学に挑戦する人もいます。

令和７年度実施の海外研修プログラム

派遣国	時期	対象	研修先	参加者数
オーストラリア	R7.8.23–9.8	全学科	シドニー大学	14名
フィンランド	R7.9.5–15	全学科	ヤムク大学	12名
アイルランド	R7.9.10–20	薬学科	ダブリン大学	5名
ドイツ	R7.9.11–20	理学療法学科	フレセニウス大学	13名
ドイツ	R7.9.11–21	子ども教育学科	ランダウ大学	8名
ベトナム	R8.2.25–3.6	全学科	ホーチミン医科薬科大学	13名
タイ	R8.3.21–29	看護学科	タマサート大学	11名








オーストラリア　フィンランド　ベトナム

参加学生の声

2年次にベトナム海外研修に参加し、「もっと広い世界で自分の可能性を広げてみたい」という思いが芽生え、3年次にはカナダでの個人留学に挑戦しました。私は大学のスピードスケート部に所属し、15 年間競技を続けてきましたが、カナダでも毎日トレーニングを行い、試合にも出場しました。高速リンクで海外のスケーターと交流し、競い合えた経験は、忘れかけていたスケートの楽しさを改めて思い出させてくれました。また、語学学校では世界各国の友人ができ、生まれ育った環境や文化が異なっていても、「英語」というツールがあれば国境を越えて心がつながり、互いを理解し合えることの素晴らしさを実感しました。この留学では、多くの素敵な出会いだけでなく、困難を乗り越える経験も重ねることで、自分自身が大きく成長し、人生の可能性がさらに広がったと感じています。これからも居心地の良い場所にとどまらず、挑戦と学びを続けながら、自分らしい人生の旅を歩んでいきたいと思います。



子ども教育学科４年　畠山雪菜さん

多彩なトピックス Topics Takasaki University of Health and Welfare KENDAI NET

Topics 01

高崎健康福祉大学スケート部

令和８年度高崎健康福祉大学スケート部は、６名の新入生を迎え春から活動をしています。オリンピックシーズンを終え、佐藤綾乃さん(本学子ども教育学科卒)をはじめ、多くの選手がスケート競技を引退しました。その中で、日本のスケート界をリードする存在として、廣瀬勇太(医療情報学科４年)が新たなメンバーと共に今年度もナショナルチームで活動しています。また、奥秋静子(看護学科１年)がジュニア強化選手Ａに選出されました。１年生ながらジュニアワールドカップでの優勝経験もあり、女子短距離チームをリードする存在となっています。新入生も加わり、今年もインカレ男女アベック優勝(女子は２連覇)を目標に、お互いに良い刺激を受けながらトレーニングに励んでいます。

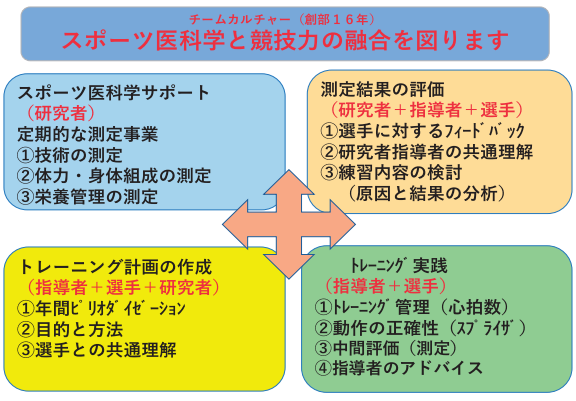
私たち監督・コーチが目指しているのは、競技力の向上だけではありません。自主性をもって行動し、自らを律するとともに、周囲にも良い影響を与えながらチームを牽引できるリーダーシップを備えた選手の育成です。

その理念を実現するために、本学では全体で決まった時間に一斉練習を行うのではなく、個人または少人数グループでトレーニングに取り組んでいます。これは、競技力の向上だけではなく、各種資格取得に向けた学習時間を確保し、授業の空き時間や授業終了後の限られた時間を有効に活用できるようにするためです。

また、本学ではスポーツ医科学を積極的に活用したサポート体制を整えています。定期的に医科学スタッフによる技術測定や体力・身体組成測定を行うとともに、管理栄養士による栄養指導・管理など、多方面から選手をサポートしています。得られた測定結果は選手一人ひとりにフィードバックされ、監督・コーチとともにデータをもとに練習内容や今後の課題について検討しています。測定を行うことが目的ではなく測定は一つの手段と捉え、その結果を理解し、自ら考え、次の行動へ繋げることを重視しています。また、日々のトレーニングでは心拍数などのデータや動作分析アプリを活用しながら、選手自身が自分の状態を把握し、より効果的なトレーニングに繋げています。

このような環境の中で、一人ひとりが自ら目標を設定し、それを達成するための計画を立て、自分で決めたことに責任をもって行動することが求められます。一人でトレーニングを行う時間が多いにもかかわらず、本学はこれまで多くの日本代表選手を輩出し、インカレ優勝など数々の好成績を収めてきました。その背景には、自ら考え、行動する選手の主体性を育み、自主性や自己管理能力を培ってきた伝統があります。

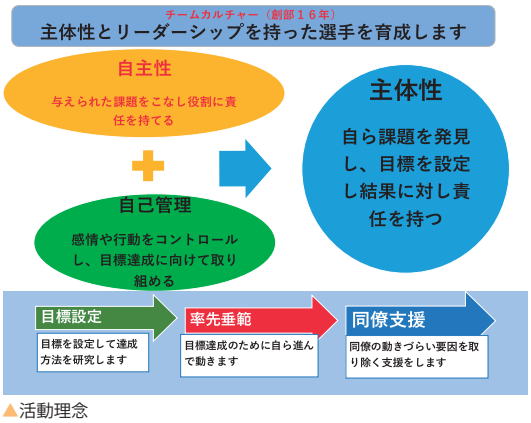
これからも本学スケート部は、競技力の向上だけでなく、一人ひとりが主体的に考え、行動し、人としても成長できる環境づくりを大切にしながら、日本のスケート界で活躍できる選手の育成を目指していきます。



▲スポーツ医科学の活用


▲トレーニング中の様子


▲フィードバックの様子



▲活動理念

令和７年度　学校法人 高崎健康福祉大学 決算報告

貸借対照表（令和8年3月31日）

◆資産の部　（単位：千円）

科目	本年度末
固定資産	17,221,532
有形固定資産	14,443,091
特定資産	1,400,000
その他の固定資産	1,378,441
流動資産	922,673
資産の部 合計	18,144,205

◆負債の部　（単位：千円）

科目	本年度末
固定負債	140,000
流動負債	1,284,391
負債の部 合計	1,424,391

◆純資産の部　（単位：千円）

科目	本年度末
基本金	27,132,065
繰越収支差額	△10,412,251
純資産の部 合計	16,719,815
負債及び純資産の部合計	18,144,205

事業活動収支計算書（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

◆教育活動収支　（単位：千円）

	科目	決算
事業活動収入の部	学生生徒納付金	4,947,394
	手数料	87,341
	寄付金	126,469
	経常費等補助金	1,713,161
	付随事業収入	221,916
	雑収入	114,790
	教育活動収入計	7,211,071
事業活動支出の部	人件費	3,692,826
	教育研究経費	2,931,772
	管理経費	639,415
	徴収不能額等	0
	教育活動支出計	7,264,014
教育活動収支差額		△ 52,943

◆教育活動外収支　（単位：千円）

	科目	決算
事業活動収入の部	受取利息・配当金	35,798
	その他の教育活動外収入	0
	教育活動外収入計	35,798
事業活動支出の部	借入金等利息	3,290
	その他の教育活動外支出	0
	教育活動外支出計	3,290
教育活動外収支差額		32,508
経常収支差額		△ 20,434

◆特別収支　（単位：千円）

	科目	決算
事業活動収入の部	資産売却差額	1,690
	その他の特別収入	50,986
	特別収入計	52,676
事業活動支出の部	資産処分差額	6,431
	その他の特別支出	225,350
	特別支出計	231,781
特別収支差額		△ 179,105
基本金組入前当年度収支差額		△ 199,539
基本金組入額合計		△ 1,562,644
当年度収支差額		△ 1,762,183
前年度繰越収支差額		△ 8,654,753
基本金取崩額		4,685
翌年度繰越収支差額		△ 10,412,251

（参考）

事業活動収入計	7,299,545
事業活動収出計	7,499,084

資金収支計算書（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

科目	決算
学生生徒等納付金収入	4,947,394
手数料収入	87,341
寄付金収入	159,769
補助金収入	1,721,154
資産売却収入	263,097
付随事業・収益事業収入	221,916
受取利息・配当金収入	35,798
雑収入	114,790
借入金等収入	0
前受金収入	743,172
その他の収入	228,025
資金収入調整勘定	△ 838,543
前年度繰越支払資金	1,462,476
収入の部 合計	9,146,389

（単位：千円）

科目	決算
人件費支出	3,680,626
教育研究経費支出	2,257,347
管理経費支出	569,605
借入金等利息支出	3,290
借入金等返済支出	200,000
施設関係支出	1,103,557
設備関係支出	261,068
資産運用支出	177,641
その他の支出	159,293
資金支出調整勘定	△ 33,039
次年度繰越支払資金	767,002
支出の部 合計	9,146,389

財産目録（令和8年3月31日）

（単位：千円）

科目		年度末
〔1〕資産総額		
1. 基本財産		
1 土地		1,771,561
(1) 校地	45,457.77㎡	626,428
(2) その他	105,389.44㎡	1,145,134
2 建物		10,671,873
(1) 校舎	65,739.49㎡	9,248,914
(2) その他	14,063.63㎡	1,422,959
3 構築物	332件	308,576
4 教育研究用機器備品	25,601点	1,088,944
5 管理用機器備品	1,108点	68,429
6 図書	164,620冊	532,123
7 車輌	5台	1,586

（単位：千円）

科目	年度末
2. 運用財産	
1 現金預金	767,002
(1) 預金	767,002
2 積立金	1,400,000
(1) 第３号基本金引当特定資産	100,000
(2) 減価償却引当特定資産	1,300,000
3 有価証券	743,214
(1) 債券	642,114
(2) 投資信託	101,100
4 電話加入権	952
5 施設利用権	2,733
6 ソフトウェア	46,792

（単位：千円）

科目	年度末
7 出資金	600
8 長期貸付金	15,900
9 保険積立金	347,624
10 敷金	9,282
11 未収入金	140,596
12 短期貸付金	5,300
13 立替金	3,192
14 前払金	1,878
15 仮払金	687
3. 収益事業会計資産	364,781
合計	18,293,623

（単位：千円）

科目	年度末
〔2〕負債総額	
1. 固定負債	140,000
1 長期借入金	140,000

（単位：千円）

科目	年度末
2. 流動負債	1,284,391
1 短期借入金	200,000
2 未払金	31,662
3 前受金	743,172

（単位：千円）

科目	年度末
4 預り金	72,007
5 賞与引当金	237,550
3. 収益事業会計負債	6,515
合計	1,430,906